

南京の映像やパネルで「上映・展示会」を!!

★ドキュメンタリー『ウィルソン医師—南京孤独のたたかい』50分、江蘇電視台製作、日本語版銘心会南京【1回1万円】1937年12月日本軍の侵攻で南京大虐殺が始まった。国際安全区内に唯一の外科医師ウィルソンは連日不眠で銃創、刺殺、強姦で傷ついた人々を治療していた。日本軍は病院も容赦なく爆撃、略奪を行った。ウィルソン医師は日記や家族への手紙に南京の状況をつぶさに記録している。1946年極東軍事裁判に証人として出廷。帰国後へ地域に医療に従事した。

★ドキュメンタリー『ミニー・ヴォートリンが見た南京』50分、江蘇電視台製作、日本語版銘心会南京【1回1万円】1937年12月日本軍の占領で南京大虐殺・集団虐殺と強姦が多発した。外国人たちが設定した国際安全区内でも日本軍の暴行がすさまじかった。金陵女子大ではミニー・ヴォートリンが四六時中、中国女性たちを守ろうと奮闘した。やがて彼女は心を病んでいく……………

★ドキュメンタリー『マギーが見た南京』50分、江蘇電視台製作、日本語版銘心会南京【1回1万円】アメリカ人の宣教師マギー牧師は、日本軍の南京侵攻直前から中国人救済に駆け回った。南京陥落後も日本軍の暴力に阻まれながら、中国人の救命に尽くし多くの中国人男女への連行、殺人、強姦から救おうとした。マギーは、日本軍の暴行を映像に収めている。又東京裁判の南京の部で重要な証人として出廷した。

★ドキュメンタリー『南京の証言者・張秀紅』40分、江蘇電視台、日本語版銘心会南京【1回1万円】張秀紅は、家を守る祖父と共に南京の街に残った。日本軍が姑娘（女性）探しに入ってきた。祖父の命を助けるために秀紅は日本兵の犠牲になった。わずか10歳の女兒は股関節を傷つけられ老人になっても歩くのが難しいままだった。夫も共に南京の被害者であり、二人は助け合って生きてきた。

★ドキュメンタリー『日本人が見た南京大虐殺』50分、江蘇電視台、日本語版銘心会南京【1回1万円】日本の侵略の象徴である南京大虐殺が、教科書に掲載されないことに疑問をもち、また「南京大虐殺否定」が日本社会に蔓延しているのに疑問を持った。小学校教師の松岡は、自ら兵士を探し出し、南京に向い、10年をかけて被害と加害の証言550人を調査した。やがて被害者と心を交わすようになる。日本や中国、北米で幅広く講演と上映活動をしている。

★ドキュメンタリー映画『太平門消えた1300人』75分（松岡環監督）【1回2万円】

2016年完 被害と加害の証言を集めているうちに、南京の一つの城門の太平門で起きた1300人の虐殺に関係したのは、三重の33聯隊第6中隊であることを松岡は証言と戦時資料から突き止めた。しかし、中国では太平門での生存者がいないことから、集団虐殺を研究する人が無く、伝手をたどり被害側の生存者にたどり着くまで4年を要した。やっとたった一人の生存者「王」を探し当てた執念！

★ドキュメンタリー映画『南京 引き裂かれた記憶』88分（松岡環総監修）【1回2

万円】2010年香港国際映画祭、2011年上海国際映画祭招待作品。松岡は南京大虐殺の被害者を聞き取り調査。後1997年から、加害兵士を調査し始めた。困難な中で調査していく内に揚子江岸辺での集団虐殺、安全区内での強姦事件の数々に、加害と被害の両方が場所や時間共に一致するのを発見した。微力であっても日本社会にむけて南京の歴史事実を問うている。2011年完成。

★ドキュメンタリー『元南京戦兵士・三谷翔の証言』12分（松岡環）【1回1万円】

海軍第十一戦隊の三谷翔は「海風」に乗り組んでいた。12月17日の入城式で上陸し、そこで見た光景は、小山状態に積み上げた死体、船上監視で見た揚子江岸辺での連日の集団虐殺の光景だった。三谷は「戦争に行かされたんじゃない、自ら侵略戦争に加担したんだ」とつぶやいている。

★ドキュメンタリー映像『南京の松村伍長』30分（松岡・岡崎監督）【1回1万円】

松村伍長は第16師団歩兵第33聯隊（三重県久居）の伍長。南京陥落の1937年12月13日、揚子江を臨時の筏や小船に乗って逃げる中国人の男女や子供に無差別に軽機関銃を掃射した。また翌日は、全軍による城内掃討を行い、難民区から引き出した男たちをクリーク岸で射殺した。取材を幾度と重ねやがて晩年、死の直前には悔悟の言葉を浮かべるようになった。

★南京大虐殺ドキュメンタリー証言ライブラリー 12分～20分【1回1万円】

南京大虐殺に深くかかわった第16師団歩兵第33（三重）38（奈良）第9師団7（金沢）68（岐阜）36（福井）聯隊などの南京攻略戦に参戦した兵士たちを10年間追跡した。集団虐殺や放火、略奪など一人ずつ詳細な証言を取り、30人分の独立した典型的な証言をライブラリーとして作成した。

★写真パネル7枚組 南京大虐殺ダイジェスト版（松岡環編集）【1週間5千円】

中国侵略の始まり、南京大虐殺の解説、加害と被害の証言、当時南京から大虐殺を発信した外国人記者の証言、未来へ向けての順に写真を多く入れて、わかりやすく説明している。

A1(90×60cm)パネル7枚の中にコンパクトに南京大虐殺をまとめているので、共催に適しています。

申し込みはメールか電話でお願いします。Mail : mtoktmk@bird.ocn.ne.jp Tel 090-8125-1757

〒（ ）住所【 】

お名前・団体名

電話番号

借りる映画名・パネル名【 】ご予約日【 】

ご購入書籍『南京引き裂かれた記憶』松岡環著、社会評論社、市民運動価格2000円【 】冊】送料必要